

【テーマ】院内技工士から見たデジタル化による日常臨床

有沢 旬平(タニオ歯科クリニック)

近年、歯科医院におけるデジタル技術の導入が急速に進展し、治療の効率と精度が大幅に向上している。特にデジタルスキャニング技術は、患者の高精度な 3D データを迅速に取得することが可能になり、CAD/CAM システムを用いて正確かつ短時間で補綴装置を製作することができるようになった。この技術の導入により、歯科医師との情報共有がよりスムーズになり、さらには患者とのコミュニケーションも可視化によって大幅に改善されている。

しかし、すべてがデジタル技術で完結するわけではない。従来のアナログ的な手法も依然として重要な役割を果たしており、特定の状況においては必要不可欠である。デジタル技術とアナログ技術の両方を適切に活用することで、より良い治療結果を提供することが可能となる。

本講演では、デジタル技術の利便性とその臨床的応用について、具体的な臨床ケースを通じて紹介する。デジタル化が進む中で、私たち技工士は新たなスキルを身につけ、これらを上手に活用しながら常に進化し続けることが求められていると感じている。